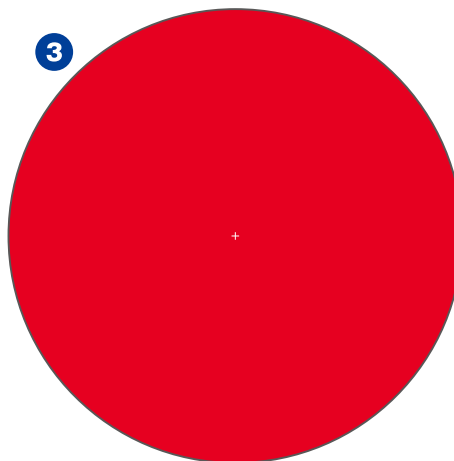
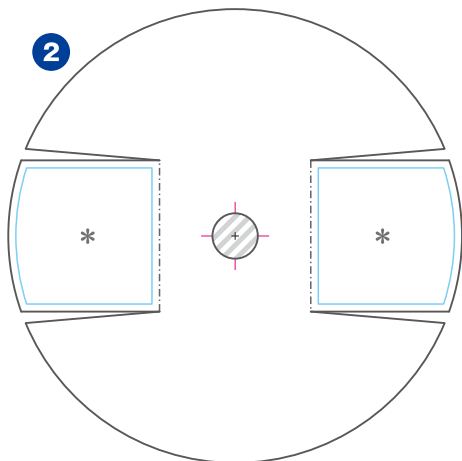
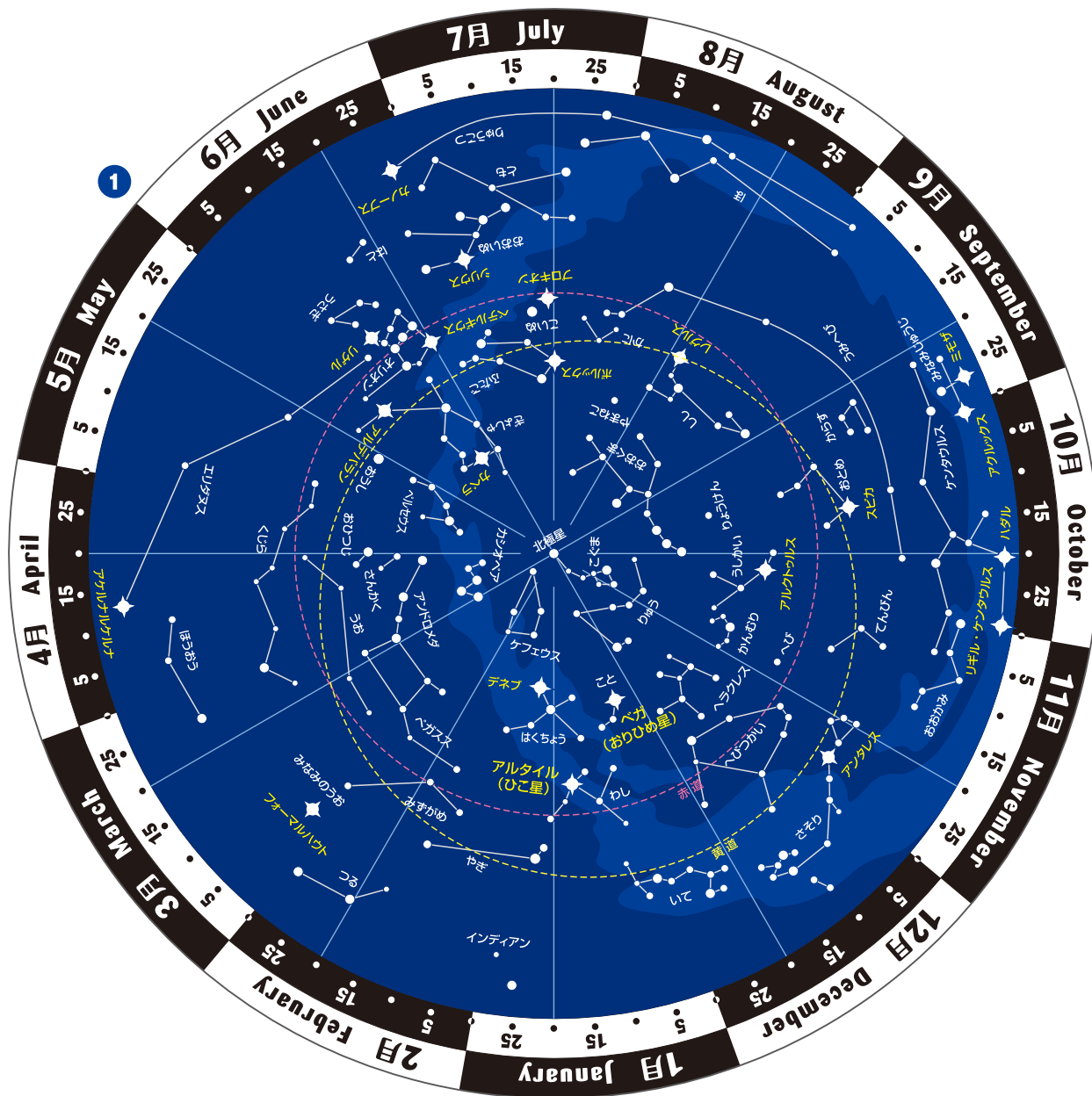


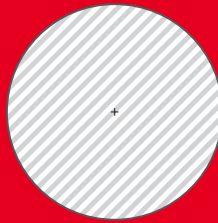
## 七夕～星に願いを～ ペーパークラフト

せいざはやみばん  
星座早見盤





5



## 星座早見盤の使い方

回転盤を回し、見たい日付と時刻を合わせると、楕円形の窓におおよそのその時の星空が示されます。実際の星空と見較べる時は、南北の方向を合わせて頭の上にかざして見ます。南北を結ぶ線と盤上の緑の円が交わるところが天頂(真上)です。

この早見盤は、北緯35度・東経135度の場所から見える星座を示しています。異なる緯度・経度の場所で使う場合は、実際の星空と見較べながら回転盤を少しずつ回して調整してください。

【記号の説明】

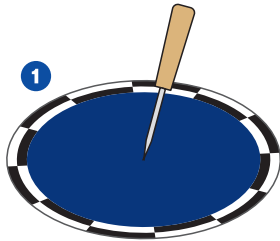
- ..... 線は山折り      ——— 線は、はりあわせのガイド
  - 線は谷折り      [斜線] は、カッターで切り抜く
  - \*            印はのりしろ
- 説明図の中の は のりづけ は さしこみ

- はさみやカッターで用紙をていねいに切り離そう。  
最初はおおまかに切り、あとで細かいところを切ると切り抜きやすいよ。
- ☆ **注意!** 刃先は自分に向けないように注意してね。
- 折り線にものさしをあてて、空になったボールペンで何度かなぞろう。  
こうすると、キレイに折り曲げることができるよ。
- 型紙に手をあてて机の角でしごいたり、丸いペンに巻きつけると、  
紙をきれいに丸めることができるよ。

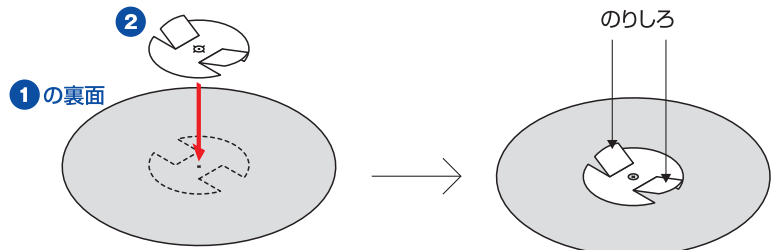


ペーパークラフトデザイン：坂 啓典 www.zuko.to/kobo/(紙工房)

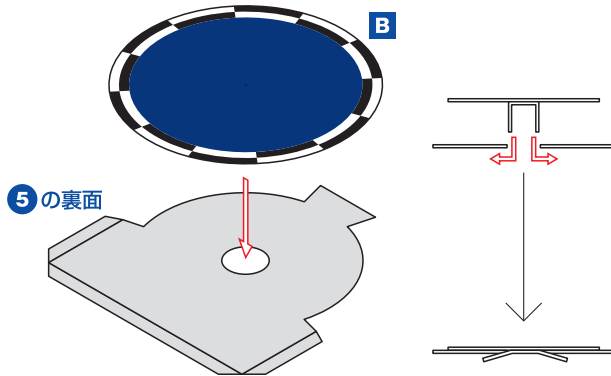
**A** 星座盤の中心(北極星)に、千枚通しなどで穴をあけます



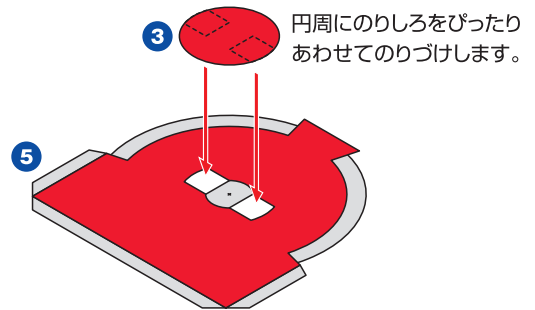
**B** 星座盤を裏返し、中心をあわせて②を貼ります。向きは問いません。2枚ののりしろはのりづけせずに浮かせておきます。



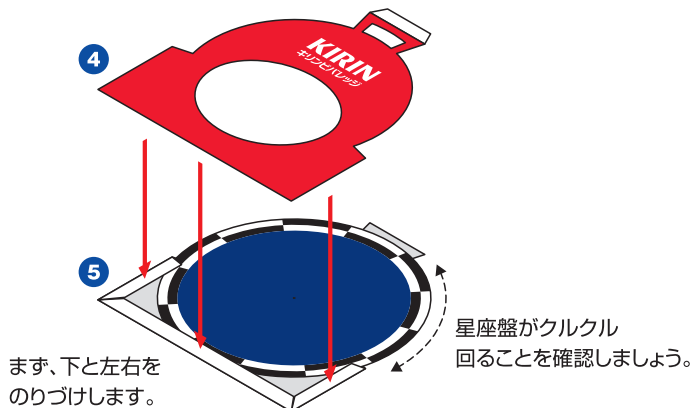
**C** ⑤を裏返し、中央の穴にBの2枚ののりしろをはめこみます。



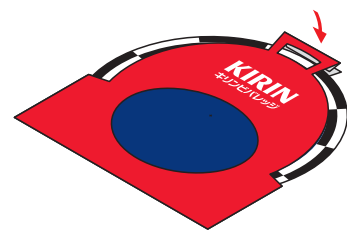
**D** ⑤をひっくりかえし、穴から出して開いたたのりしろに③を貼ります。台紙にのりがつかないように注意しましょう。



**E** ⑤をもう一度ひっくりかえし、のりしろを内側にしっかり折りかえして③をのりづけします。



**F** 星座盤にのりがつかないように気をつけながら、上ののりしろをのりづけします。



星座早見盤の使い方は、盤の裏面に書いてあります。

参考資料：JAXA宇宙教育センター「星空を身近に感じよう！  
— 発達段階に応じた星座早見盤を作る —」他